

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度										中期 目標	
II-1-(4)-① 危機管理対応能力の向上	1	⑬ ⑰	防災訓練の実施	危機管理課	風水害、地震等の大規模災害時における防災体制について万全を期するため、災害に対する各種訓練を実施する。	防災訓練参加人数	2,738人 (H26年度)	目標 3,000 人 実績 767 人 達成率 25.6 %	3,000 人	3,000 人	3,000 人	3,000人 (毎年度)	継続	10,697	10,256	維持	11,050	遅れ	各区の災害特性に応じた訓練を実施するほか、危機管理能力を向上させるため、近年の災害事例や過去訓練等を踏まえ、多様な防災訓練を継続して実施する。 新型コロナウイルス感染症防止対策を講じたうえで、例年通り訓練を実施する。	順調	災害時の防災活動の円滑な実施を図るため、市民、防災関係機関、各種団体及び民間企業等、多様な主体と連携した防災訓練を実施する。 また訓練実施後は、分析及び検証を行い、地域防災計画等に反映させるよう努める。
II-1-(4)-② 災害に関する情報提供と自助、共助の意識づくり	2	⑬ ⑰	みんな de Bousai まちづくり推進事業	危機管理課	過去の大規模災害の教訓から、自助・共助の力を向上させることが「減災」対策を推進する上でも必要不可欠である。 また、「北九州市地域防災計画見直し検討会」の中でも、地域コミュニティが持つ防災力＝「地域防災力」の重要性が指摘された。 これらのことから、市民が自ら「命を守りぬく」ことができる自助・共助の力を向上させるとともに、地域防災力の育成及び活性化を推進する。	地域コミュニティが主体となって防災ネットワークを構築し、作成した地区防災計画策定数 ※中期目標改訂	4地区 (H26年度)	目標 15 地区 実績 2 地区 達成率 13.3 %	15 地区	15 地区	10 地区	8地区 (R5年度以降毎年度)	継続	11,443	10,724	減額	8,050	順調	人材育成事業について、令和5年度も引き続き市内の大学と連携を行い、地域防災を担う新たな人材の育成に努める。 地域で開催される防災会議の支援については、実施単位を固定せずに柔軟に支援することで、地域の特性がより反映された計画の策定を目指す。 【指標追加の理由】 地域防災力の向上を図る観点から、地域コミュニティでの防災学習会の実施回数を指標に加えた。 【中期目標の変更理由】 地域防災力の向上を図る観点から、地域コミュニティでの防災学習サポート事業の実施回数を指標に加えたため、中期目標地区数の内訳について変更したものの。	順調	「みんな de Bousai まちづくり推進事業」の取組を継続して実施し、令和3年度から開始した「SDGs防災サポート事業」についても、引き続き市の広報媒体の活用や参画企業等と連携して知名度を高め、多様な主体（マンション、町内会等）での防災活動の活発化を図る。
	3	⑬ ⑰	地域と連携した避難所開設・運営事業	危機管理課	大雨や台風などによって災害が発生するおそれが高まり、予定避難所を開設する際に、避難所の開設と運営を住民と連携して行う事業を実施する。	避難所の開設と運営を住民と連携して行う箇所数	14箇所 (R3年度)	目標 14 箇所 実績 14 箇所 達成率 100.0 %	14 箇所	30 箇所	40 箇所	98箇所 (R8年度)	継続	12,100	12,500	維持	11,050	順調	事業に参加する校区数が増加しており、地域における防災意識の向上が図られているものと感じる。 事業に対する地域の意向を踏まえ、事業内容を検討し、更なる校区数の増加を目指す。		